

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2001-312225 (P2001-312225A)  
 【公開日】平成 13 年 11 月 9 日 (2001.11.9)  
 【出願番号】特願 2000-165138 (P2000-165138)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 F 9/37  
 G 0 2 F 1/167  
 G 0 3 G 17/04

【F I】

G 0 9 F 9/37 Z  
 G 0 2 F 1/167  
 G 0 3 G 17/04

【手続補正書】  
 【提出日】平成 16 年 5 月 17 日 (2004.5.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 7 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 7 9】

第 1 の実施の形態に係る画像形成装置 1 2 は、図 3 0 に示すように電圧印加手段 2 0 1 を備えている。画像表示媒体 1 0 は、画像が表示される側の表示基板 1 4 と該表示基板 1 4 と対向する非表示基板 1 6 との間に、スペーサ 2 0 4 と黒色粒子 1 8 及び白色粒子 2 0 とが封入された構成となっている。表示基板 1 4 及び非表示基板 1 6 には、後述するように透明電極 2 0 5 が付されているが、非表示基板 1 6の透明電極 2 0 5 は接地されており、表示基板 1 4の透明電極 2 0 5 は電圧印加手段 2 0 1 と接続されている。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 2 0  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 1 2 0】

駆動寄与する行を  $V_{A+} = -400\text{ V}$ 、寄与しない行を  $V_{A-} = 0\text{ V}$ 、白表示を行なう列を  $V_{B+} = +400\text{ V}$ 、黒表示を行なう列を  $V_{B-} = 0\text{ V}$  として、マトリックス駆動を行なった。本実施例の構成では、粒子移動のための閾値は  $\pm 500\text{ V}$  であることから  $E_0 = 1.67\text{ M V / m}$  となる。同様に  $E_1 = 2.67\text{ M V / m}$ 、 $E_2 = 1.33\text{ M V / m}$ 、 $E_3 = 1.33\text{ M V / m}$ 、 $E_4 = 0\text{ M V / m}$  となる。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 2 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 1 2 1】

(4) 式、(6) 式を満たすので、マトリックス駆動が可能になる。ここでは、(4) 式を満たす方法を用いたため、あらかじめ全面黒表示をする電界  $E_x = -2.67\text{ M V / m}$  となるように全面の駆動をした後に表示駆動をおこなった。